

葉重タイプで極良作業性。べと病R1～13・15・16抵抗性
9月下旬～10月中旬&12月中旬～2月下旬蒔きが最適！



一代交配

らいてん

雷電13

NSP-111A

ほうれん草

葉重タイプで
肉厚・黒葉！

スタンドアップの前後作で使える！頼れる！
葉重タイプで極良作業性。
極濃緑色の肉厚・黒葉。
暖冬・春先のべと病対策としても。

～特性～

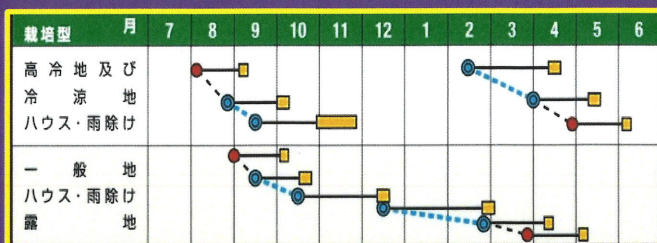
①秋系で、秋・冬蒔きに適する。最適期はハウス、露地作の9月下旬～10月中旬蒔きの11月～12月出荷。及び12月～2月蒔きの2月下旬～4月中旬出荷。生育早さは中程度で最短生育日数は30～33日程度。厳寒期は伸びないので播種しないほうが良い。

②葉色は極濃緑。葉先あまり尖らず浅目の欠刻が一段入る程度。葉身部と葉柄の長さバランスが良い。草姿は極立性で葉柄折れにくく、収穫調整は非常に容易。葉幅は中～やや広く、葉肉厚く収量があがり、葉枚数は中～やや多め。べと病（レース1～13・15・16）に抵抗性。

べと病抵抗性

R1～13・15・16

低温伸長性 (1.5)



ナント種苗株式会社

一代交配

らいでん

雷電13

べと病抵抗性

R1~13・15・16

低温伸長性 (1.5)



スタンドアップの前後作で使える！頼れる！
暖冬・春先のべと病対策としても。

葉重タイプで極良作業性。べと病R1~13・15・16抵抗性
9月下旬~10月中旬&12月中旬~2月下旬蒔きが最適！



~栽培のポイント~

- ① 株重・収量を上げるためには9月~10月初旬蒔きは《薄蒔き》とし、じっくり生育させる。
- ② 10月中旬蒔き、及び12~2月上旬蒔きでは《やや厚蒔き》とし、生育を早める。
- ③ 本種は低温伸長性は高くないため、1~2月収穫の厳寒期作型は避ける方が無難。
- ④ 近年レースの分化が激しいため、べと病の発生しづらい環境作りを行うことが重要である。

左写真) 福岡県露地栽培にて2019年10/10に播種された「雷電13」。12月下旬収穫。

右写真) 福岡県露地栽培にて2019年10/18に播種された同品種。12月下旬収穫。

- ★立性度: **アイトン9** ≧ **雷電13** > **ベストイレブ**
- ★作業性: **アイトン9** ≧ **雷電13** > **ベストイレブ**
- ★収量性: **雷電13** ≧ **ベストイレブ** > **アイトン9**
- ★生育の早さ: **雷電13** ≧ **アイトン9** ≧ **ベストイレブ**
- ★晩抽性: **アイトン9** > **ベストイレブ** ≧ **雷電13**

~推奨播種期~

「スタンドアップ13」の前後作型で使用する。

9月下旬蒔き

10月前半蒔き

10月後半蒔き

11月蒔き

12月蒔き

1月蒔き

2月蒔き

雷電13

ライディーン

NSP-111A)

べとR1~13,15,16

9/20~10/15蒔き

12/15~2/28蒔き

低温伸長性(2)★★★★☆

スタンドアップ13

べとR1~13,15,16

10/20~12/31蒔き

低温伸長性(3.5)★★★★☆

雷電13

ライディーン

NSP-111A)

べとR1~13,15,16

9/20~10/15蒔き

12/15~2/28蒔き

低温伸長性(2)★★★★☆



ナント種苗株式会社